

# 死者は生きている 「見えざるもの」と私達の幸福

町田 宗鳳 筑摩書房

1950 年生まれ 14 歳で出家、20 年後に渡米ハーバード大学神学部で神学修士号、ペンシルバニア大学で哲学博士号、プリンストン大学准教授、国立シンガポール大学客員教授、現広島大学名誉教授「人の運は小食にあり」講談社他、多数（はじめに）

現代人が財産や社会的地位等見えるものを獲得しようとして懸命に努力して大きく成長します。一方「見えざるもの」に公平な目を向けると、生きる世界が何倍にも広がり、ひとたび見えざるものの存在の大きさに気づくと生きる勇気がドンドン湧いてきます。死後の世界や死者の世界も見えざるものの一つです、その人は確実に今もあなたを見守り励ましています。神仏の有無も見えざるものですが、それを感じるだけの感性が必要です。現在の宗教は人間の魂を拘束する面が強すぎ、遠からず宗教のリセットが行われ軌道修正されるでしょう。

「見えざるもの」をありありと感じる能力を手に入れると神社やお寺に行くのが楽しくなります日常と非日常、常識と非常識どちらか一方に堕ちる事は人間に与えられた精神の自由を自ら放棄する事の様な気がします「見えざるもの」の中でも死者の力が本書の一貫したテーマで私の個人体験に基づいています。

## 第1章 死は最高の幸せである

\* 死者はいつも寄り添ってくれている。詩人谷川俊太郎氏の「あなたはそこに」  
“本当に出会ったものに別れはこない、あなたは未だそこにいる、目を見張り私を見つめ、繰り返し私に語りかける、あなたとの思い出が私を生かす早すぎたあなたの死すら私を生かす、初めてあなたを見た日から、こんなに時が過ぎた今も” 著者の私も谷川さんと同じように「あなたはまだそこにいる」事を物理的事実として受け止めています。

\* 必ず思いは届く～法然上人は「炎は上に向かって昇り、水は下に向かって流れる、念仏を唱えたら極楽往生はそれ程、確かなものです」と。

\* 切れる事のない死者との繋がり～2015 年「**岸辺の旅**」黒沢清監督「**母と暮らせば**」吉永小百合主演、山田洋次監督いずれもフィクションですが亡霊が死の3年後に出現する共通性があり、恐らく3年と云う歳月はこの世に生きる人間が愛する者の死を全面的に受け入れる迄の必要な時間かもしれません。  
これらの映画では死者と死者が何気なく交流しますがこの世とあの世の境目は想像するほど、大げさなものではなく自分が死んだことを自覚していない死者が沢山いる筈です。

\* 幽霊の正体～フランスの古い修道院を訪れた時、案内の女性が P 1

「ここからは時々幽霊が出ます」と、真剣に云い確かに不気味な気配だった。

私自身東北の被災地で幽霊が頻繁に出るという場所でお供養をさせて頂いた。

\* 死の瞬間に何を思うか～「崇り」は生きている者に気付いてほしい事がある際のシグナルという事は大いにあり得ます、きちんと受け止めれば不可解な現象は止む筈、最も理想的な死はニッコリと微笑み乍ら「愛と感謝」の言葉で看取ってくれる人たちに残せることです。この世を去る時は身辺整理だけではなく、あらゆる想念を綺麗にして去りたいものです、これは私の持論ですが「**トイレを美しく使っている人は死に際も綺麗**」と、いうものです。

\* なぜ臨死体験が存在するのか～キューブラー・ロス医師が臨死体験者のインタビューを集めた「死ぬ瞬間」読売新聞社、立花隆「臨死体験」と云う本は一気に注目され最近では脳神経外科医エベン・アレクサンダー博士の「**ブルー・オブ・ヘブン**」早川書房、は世界的ベストセラー。2014年の英国サウザンプトン大学他の調査で英国・オーストリア・米国の15病院で心停止状態から蘇生した患者330人の内、約40%が臨死体験のパターンは①死の宣告が聞こえる②心の安らぎと静けさ③耳障りなブーンと云う音④暗いトンネル⑤物理的肉体を離れる⑥死んだ家族等との出会い⑦光の生命⑧人生回顧⑨死後の世界との境目を見る⑩蘇生～この一連の流れでも「体外離脱・トンネル・光」が臨死体験の三大特徴ですが、私自身青春の大半を座禅に明け暮れして、深い禅定（意識変容体験）の中でも体験されます臨死体験に最も注目したいのは先に亡くなった家族や友人が迎えに来た報告ですセリー・サザランドはオーストラリアで50人の臨死体験者に聞き取り調査「**光の中に再び生まれて～臨死体験から学ぶ人生の意味**」人文書院、の本にまとめ自己受容、他者への気遣い、生命への尊厳の念、反競争主義、知識欲求、死後の世界の確信など、一日一日大切に生きる事と。

\* **地獄からの生還～弁護士で医学博士秋山佳胤氏の「食べない人達・ビヨンド**」マキノ出版は司法試験に何度も挑戦、3回目の不合格で失意のどん底での眠りで地獄の光景・冷酷無残な世界・想像を絶する悪臭・・・秋山氏はアパートの中で倒れているところを友人に発見され助かった、その後なぜか心が晴れ晴れして勉強も悠々と楽しんで出来て翌年の司法試験に見事合格した。

\* “**お迎え現象**”のありがたさ・生きている人が体験～NHKの番組「**クローズアップ現代**」で「**天国からの“お迎え”穏やかな看取りとは**」2012年の特集では在宅緩和ケアを受けた患者の約4割がお迎え現象を体験し、其の9割が穏やかな死を迎えたと報告されている。又安堵感ある自宅での死が人間にとってベターな死に場所の選択の様です。

\* 死んだようで死んでいない時間～多くの人を看取り続けた熟練の医師によると人は臨終の前にはとても穏やかな表情になると、

更に通夜の時の顔と遺体はもっとおアダやかになっていると、驚くべきことは「昏睡状態の人と対話する」NHK ブックスに昏睡する人はどうやらハッキリした意識を持っているようです（コーマ・ワークを使って意思確認できる）

心理療法家のミンデル「**昏睡状態はその人の人生最大の魂完成のチャンスだ**」

- \*先祖供養は自分にしかできない～孔子も「祭るには在るが如くし神を祭るには神が存するが如く、する」と、有縁の者が誠心誠意、死者のことを思うことです。そうすることが死者の霊があの世界でも霊的進化を遂げ、より高い次元に向上して行けます。ありがたいは世界最短のお経です、死者は“お経を読む人の音声”で癒されます。
- \*お葬式も創造的であるべき～私の希望は富士山が見える裾野で家族友人が集い亡骸を野焼きしてくれる事でビールやお酒御馳走は私の大判振る舞いです。

## 第2章 昔の人は知っていた「死者の力」

- \*生と死は数珠繋ぎになっている「弔い服す」のは“死者の力”を我身に受け魂が入ってきて任務完了・喪は終了。
- \*樹木には浄化能力がある～堂々たる大名の墓が林立する高野山の奥の院は死者の力を体感するととても良い場所です弘法大師空海は亡くなったのではなく今も入定されているという信仰があります（永遠に生き瞑想に耽っている）関ヶ原で東西に分かれ死闘を繰り広げた武将達のお墓が仲良く林立どこか睦まじいものです。奥の院には20万基以上のお墓があるのに何故か薄気味悪さがほとんどない、強い気を感じる何ヶ所かは大杉が林立していて、神社にもご神木は強い気を放っています。生きた人間が集まり気が汚れるのを神聖空間の気を清浄に保つ為に樹木が不可欠なのです。神棚に榊、仏壇に生花を供えるのも植物の気がその場を浄め神仏を喜ばすから、造花は意味がありません。
- \***食によって結ばれる死者と人**～伊勢神宮や出雲大社等格式の高い神社では神々に神饌と呼ばれる食事を二度お供えする日供養が営まれ祭壇から下げたご神饌を人間が頂くことを直会と云います直会を頂くことで神事を完遂したことになります。毎秋五穀を神々に捧げる新嘗祭りでも天皇は宮中の御神前で直会されます御米飯・御栗飯・白酒・黒酒等です天皇は頂く前に柏手を打ち低頭しオーと低い声を出すのが作法、天皇が即位して最初に営む新嘗祭は大嘗、天皇は皇祖の天照大神と食事を相嘗することで神の恩恵を受けます。

## 第3章 「見えざるもの」に導かれて

- \*虐待少年の家出～私は中学2年生の時に突然家出し仏門に入りました。中学の同級生が寺の小僧で日曜毎に寺に遊びに行きお寺の人が黙々と座禅したり畑を耕しているのに心を惹かれ住職が大変教養ある学僧で英語も堪能国内外の一流の人達と交流しているのを見て自分もそうなりたと思ったわけです。又幼いころから高熱を出し寝込むことが多く、

その都度自分が死ぬ恐ろしい夢を見て死にまつわる思いが胸の内にわだかま  
っていてお坊さんになれば、その答えが見つかるような気がしたのです。

- \* 座禅と云う臨死体験～結局私は京都の禅寺で 20 年間過ごし座禅修行で生き死  
にが断絶していないことを体感、座禅の最中に起きる意識変容体験を禅定と  
呼びそれが深まって呼吸数も極端に減り意識も深まって意識も低下する  
ので死の疑似体験でもあります禅定が深まると何処かで意識の底を打ち「無意識  
の光」に触れる瞬間で自己の闇の中に眩しい光を見ることとなります、座禅を  
止めると水面に首を出した時、つまり意識が覚醒した時一面生に囲まれ全て  
が生喜びに映ります。白隠禅師の歌も「若い衆や死ぬのが嫌だったら今、死  
にやれ、一度死んだら二度と死なぬ、ぞや」と、座禅は一種の臨死体験。
- \* 京都大原の庵に潜む～僧侶として寺院組織に止まる事に疑問を抱いて師匠の  
死後取り敢えず京都大原で一人暮らしを決めた暫くすると村人が次々と現れ  
「和尚さんこの寺は昔から崇りがあったみたい」と云われたが一笑に付した  
数ヶ月後に結婚、その頃から家内が「いつも夢の中で首のない武将と闇の中  
に座る悲しげな姫様が現れて寒い寒い」と云い夜中に震えだす事が良くあった、  
さすがの私も気になり靈感のある知人に来て貰ったら「ここは魑魅魍魎の巢  
窟」と云って寺の門すら入らない、1ヶ月程浮かばれない仏の為に一生懸命に  
お経をあげていた茶室の傍らの藪の石仏に気付きその近くにも一つあった、  
なんとなく男女の気配がして仲良く並べて供養させて貰ったら翌朝石仏の前  
に首のない赤蝮の死体が横たわり、とっさに首のない武将が成仏した証であ  
る、と直感した。
- \* **幽霊寺からハーバード大学**～私の庵に世界的数学者ハーツ・ホーン教授夫妻  
がよく出入りされご主人が尺八、奥様がお琴を演奏、余程日本文化がお好きだ  
ったがある時悲痛な顔で来られ「親友の息子さんがハーバード大学在学中に  
自殺、ここで弔って貰えないか」と、後で家内は私がお経をあげている最中に  
障子の向こうに人影が映ったと、私の人生がその頃から大きく展開して米国  
留学を目指していた所、ハーバード大学神学部長ラップ博士から「大学に特待  
生として迎え入れたい」と驚天動地の手紙が届いた、ハーツ・ホーン教授推薦  
状のお陰だった、一文無しの私に 5 百万円の預金証明が必要だったが次々に  
応援して下さる人が現れ 3ヶ月程で集まり見えざる存在を感じた。
- \* **妻の妊娠と“前世の記憶”** 京都大学病院では子供の頃に高熱を患い将来子供は  
無理と云われていたが前世医療法で著名な精神科医は私に「町田さんは前世  
で砂漠の国で王だった事があり、その時にお世継ぎが生まれぬ正室を責め  
何人もの側室を持った、子宝は意地でも持って見せますと今生の妻となつて  
います」と、これには驚きました。家内が奇跡的に子供を授かった  
理由を言い当てた「人は死んでも、死んでいない死者の想念は

時空を超えて現象世界影響を及ぼしている」次々と目の前に展開する不思議な体験をした。

- \* アメリカ人の人情に助けられる～家族を養うために掃除夫、運転手等何でもやり困窮極まりない目に何度も危機的な状態も潜り抜けてこられたのは偏にお経の功德とアメリカ人の親切心のお陰で 3 年後に漸く博士号を取得感無量でした、ペンシルバニア大学博士課程に進学のお誘いがあったアルバイトはバブル経済を謳歌する日本企業の米国進出で高い報酬の通訳をする事が出来、お陰様で、思いがけない最高の社会勉強にもなった。
- \* 棚ボタ人生にただ感謝～博士号を取得しプリンストン大学に就職、世界中の第一級学者が集まっており貴重な体験当時はジャパン・アズ・ナンバーワンの時代で講義はしばしば満員、そうした体験のお陰でおびただし数の国際学会・会議・講演会に参加させて頂きました。
- \* “死にともない” 私は今迄に 7 回ほど死にかかり、そこから辛うじて生還した、その都度何者かに守られているとしか思えない、その内の 3 つは 1 歳の時に肺炎をこじらせて高熱でぐったりとなり全く反応なし、私の状態を見た叔父が牛黄と云う漢方の玉様と云う高貴薬を苦勞して手に入れ、小匙 1 杯で熱が下がり事なきを得た、二つ目はシンガポール大学教員時代にマレーシアの海で離島へ 5 時間かけて渡る際に小さな漁船で大シケに会いエンジンも止まって何時転覆してもおかしくない状態が 1~2 時間続いた後に一転して嘘のような快晴になり無事帰還できた。三度目の事件は人質で最も恐ろしい体験～ベトナムで夜遅く人力車に乗ってホテルに帰る際にどうも方向がおかしい、車夫はしきりに携帯電話で仲間と話していてとっさに罫に嵌められたと気付き人力車から飛び降り近くの民家に逃げ込み住民に聞くと全く方向が違う、タクシーを呼んでもらい帰ろうとしたら 6 台のバイクに囲まれ男達が私を袋叩きにしたがイチカバチの大芝居で「俺は空手をやるんだ！」と叫び気迫で戦う姿を見せ、金が欲しいならやる！と、タクシーを急発進してもらい窓から札束をバラ撒きやっとなり逃げ切れた、自然より人間の方が恐ろしい、とつくづく思い知りました。
- \* “生涯の師” との出会い～私の博士論文のテーマは「法然の思想」でした。この仏教を貴族から庶民に未開のジャングルに飛び込んで切り開いたのは法然です～法然の涙（講談社）を執筆中は「町田先生は法然そっくりの顔になってきましたね」とよく言われました。第 6 章での“ありがとう禅”と云う瞑想法も口称念仏を樹立した法然上人との出会いからでした。

#### 第 4 章 人は何故生まれ変わるのか

～結論から先に云えば肉体を持った人間としてできるだけ多くの境遇を体験した方が魂の学びが大きいからです、輪廻転生を繰り返して

個が消え生命の大海に溶け込む迄は我々一人一人が誰かの生まれ変わりです。誰か或いは自分自身の生まれ変わりである我々はこの世で少しでも多く学習をして魂を進化させる責任があります、肉体は魂を進化させる最高の装置です徳川家康は「重荷が人を作るのじゃぞ、身軽足軽では人は出来ぬ」と、あらゆる重荷は学ぶ事で肩から荷を降ろすことが出来る。寿命を全うすれば死も又、カルマの重荷から解放でき、大いに祝福すべきことです。

- \* **前世の記憶を持つ人たち**～バリ島のヒンズー教徒だけでなくチベット仏教も前世の記憶を重視、ダライラマが亡くなると高僧が転生地を探し当てダライラマの所持品を言い当てた子が生まれ変わりと判断され新しい法王となる。バージニア大学精神主任教授だったイアン・ステューヴンソンは23百件程の事例調査で「前世を記憶する子供達」日本教文社、にまとめている。非業の死を遂げた男子は前世のことを覚えているケースが多いと、生まれ変わりの最有力の証拠は前世の肉体と同じ場所にあるアザ、ホクロ、傷跡、仕事や嗜好も継承する。
- \* **魂は細胞分裂する**～私の過去世はアイルランドの修道士、群馬の羊太夫、砂漠の国の王、壇ノ浦の平資盛だったかもしれず、死後の魂は細胞分裂し乍ら異なったタイミングで転生する多様な体験は他者の立場の理解に繋がるから。
- \* **不遇の死を乗り越える**～ユダヤ教の聖典タルムードに「**立派な生き方をせよそれが最大の復讐だ**」非業の死と云う悲劇の復讐は残された者の生き方次第で決まる。

## 第5章 “見えざるもの” と人間の幸せ

\* 93歳で亡くなった漫画家の水木しげるさんの「幸福7ヶ条」

- ①成功や栄誉や勝ち負けを目的にこれを行ってはいけない
- ②しないではいられない事をし続けなさい
- ③他人との比較ではない、あくまで自分の楽しさを追求すべし
- ④好きの力を信じる
- ⑤才能と収入は別、努力は人を裏切ると心得よ
- ⑥怠け者になりなさい
- ⑦目に見えない世界を信じる

～私は⑥が好きです、自分が大好きな事を自分流にやっている人だけが、真に怠け者になり得るのです。

\* 死者、神仏、自然は三位一体です～私は見えざるものは3種類あると考えています ①死者の力 ②神仏の力 ③自然の霊力～深い所で繋がっているように思います。見えざるものである“**マナ・パワー**”をどう感じ、どう生活に役立てていくか、そこに我々が真に幸福になる為の鍵が潜んでいるようです。

\* “死者の力”で繁栄した都市～花の都パリに「カタコング・ド・パリ」P 6

と呼ばれる地下納骨堂には6百万人の遺骨が納められている、1300年にわたり死者が埋葬されていた市内の墓地を閉鎖した際に遺骨を地下碎石場に移したのが起源ですが毎日多くの観光客が長蛇の列をなしている。

\* **天皇や将軍も死者に守られていた**～京都には化野、鳥辺野、蓮台野という三大風葬地、他立派な寺院が建てられ死者の供養が懇ろに行われてきた、街の中には御所があり、明治天皇が移った東京でも皇居は谷中霊園、青山霊園、雑司ヶ谷霊園、築地本願寺の長方形の中心部に収まる場所で現在東京が享受する世界有数の繁栄も死者の力に支えられている気がしてなりません。

皇祖神が祀られている伊勢神宮も死者の力に守られている**伊勢音頭で「お伊勢参らば朝熊をかけよ、朝熊かけねば片参り」**と、人々は外宮と内宮参拝後には朝熊山にある金剛證寺をお参りするのがしきたりです。

\* どういう神社やお寺にお参りすべきか～

- ①神社なら神官、お寺なら僧侶が毎日境内を掃き清め祝詞を上げ読経している
- ②本殿や本堂内部の祭壇が美しく整えられている
- ③祭壇に向かって両手を広げてみる、手のひらに強いものやピリピリしたものを感したらマナ・パワーが宿っています。

～運よく出会えたら出来るだけ長く佇む事です。

\* **みだりに足を踏み入れてはいけない神域**～神社の森や山も立ち入り禁止になっています、石ころひとつ持ち帰っても祟りがあるとされています。石ころで私は苦い経験があります台湾の先住民・アミ族の調査で花蓮県の瑞穂で陽春石を頂き寝床に置いておけば男性がいつまでも元気な夜が過ごせる内の主人も置いていると云われ好奇心旺盛な私は持ち帰り美しい石だったので居間に置いたら、それ以降帰宅するとクシャミに悩まされ北側の寝室に入るとピシヤリと止まった、靈感のある友人にその話をすると「居間に何か今迄なかったものを置いていないか」と問われ事情を話した所、その石があった川で以前大洪水があり多くの人が亡くなった、その石を埋めて供養してあげると云われ、その通りにしたところ病状が消え、狐につままれたようだった。

\* **パワースポットとは何か**～巨石、滝、大木はマナ・パワーを放出していて手の平でピリピリ感じます。長野県伊那市の分抗峠はゼロ磁場として有名で多くの人がそこを訪れ心身のバランスを取り戻そうとします。科学的根拠があり断層がある地域は地震が起きやすく危険とされていますが自然の霊力を感じるには良い場所とされています。

\* **霊界の言葉を話す人々**～シャーマンだけでなく前世の記憶を持っている子供達、認知症・何らかの精神疾患を持った人も口にすることがある、これらを単に非常識とせず素直に耳を傾けていれば目に見えない世界から貴重なメッセージが含まれているかもしれません。

- \* “目に見えるものを大切に”～金銭欲、名誉欲、愛欲等の欲望も神様から与えられた最高のプレゼントですそれがあるがゆえに人はたゆまぬ努力をします。成功しても正直、誠実、勤勉、創意工夫等いろいろな要素が必要であり、それらをわきまえて精進・努力する人は成長します。  
本気で志していた夢を実現出来たらそれが大きな満足感をもたらします。見えるものを大切にした上での“見えざるもの”の追求ですこれらは車の両輪のようなもので、どちらを欠いても全人的成長は望めません。

#### 第6章 生と死の“縁結び”

- \* 日本文化の核心にあるもの～西洋一神教の思想的原型は神と人との断絶で、西洋近代文明にも生と死、聖と俗、善と悪、精神と物質の断絶が厳然として存在しています。ところが善悪をハッキリさせない曖昧な文化を培ってきた日本人は繋がっているという直感がある、私はそれを「結びの思想」と呼び日本国民が誇りとすべき精神遺産であると定義づけ目に見えない国宝として「日本の思想的原型」を世界発信することを、残された学者生命をかけたと思っています。
- \* “生死即涅槃”と云う考え方～**遺伝子学者の村上和雄氏**は“生き物が生まれる確率は1億円の宝クジに百万回も連続で当たったと同じ位に凄い事だ”と、今生かされているだけで十分に奇跡です今日の平凡に感謝せざるを得ません。

( 完 )